

## 大阪大谷大学「地域社会体験/学生インターンシップ」として

### 大阪狭山市市民活動支援センターへ体験



猪俣くんを紹介します。(人間社会学部 1回生)

<コメント>

私は大学に入るまでボランティア活動の経験はなく、大学に入り、初めて子どもと共に過ごすボランティアを始めました。もっと経験を積み、活動を通じて自分の将来の糧になりたいという気持ちで当市民活動支援センターを希望しました。市民活動団体や小学校での放課後授業等を体験したことを活かしたいと思います。



山畑君を紹介します。(人間社会学部 1回生)

<コメント>

人間社会学は地域について考える授業が多い学部です。「地域とは何か!」を“もっと知りたい”さらに大阪狭山市の地域の中で、子どもに関わる体験をしたいと思い、インターンシップを通じて当市民活動支援センターを希望しました。同じ年代で活動しているグループや子どもに関わる活動等を体験しました。

#### プログラム

大阪大谷大学人間社会学部人間社会学科は、2017年4月、現代社会コースの創設に伴い、1回生が地域社会を体験的に学ぶ科目「地域社会体験インターンシップ」を開講しました。当該科目は、卒業後、社会科教員あるいは公務員として、地域社会の活性化やそれを担う人材育成に携わりたいことを希望する学生を対象として、夏季休暇中(当支援センターでは、8/15~9/13までの40時間)に実習を経験しました。

学生が学外の団体に出向き、そこで何らかの体験をし、それを学内に持ち帰り、教員の支援を得て学びを広げることが趣旨とします。学生2人のプログラムは以下のとおりです。

#### 【プログラムの内容】

実施項目	体験場所	活動内容
1) オリエンテーション 研修会、会議参加	市民活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"><li>・プログラムの説明</li><li>・中間組織の役割</li><li>・VICの活動内容</li><li>・VIC会議参加</li></ul>
2) 取材・体験	NPO法人 ワークレッシュ	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域で住む人のニーズに対応した子育て支援を学ぶ</li><li>・子どものためのコミュニティスペースとしての拠点づくりを学ぶ</li></ul>
	さやま未来プランナー	<ul style="list-style-type: none"><li>・なぜ、若者がこの地域で活動するのかを知る</li><li>・「さやかキッズフェスタ2018」に参加し、子どもとのふれあい体験</li></ul>

	たんぼぼの丘 (障がい者通所支援施設)	・「もぐらのアートフェスティバル」に参加。障がいを持った人たちと地域の人たちとのコミュニティの場づくりとして、イベントを通じて、地域との繋がりの課題を体験。
	市立南第二小学校	<学力向上推進事業> ・3年生を対象に放課後、宿題やドリルを使い、自主的に勉強を行なう。 解らないところをボランティアの人が支援することを体験。
3) スタッフとの意見交流会 (中間)	市民活動支援センター	・これまで参加して得たものは何か ・地域の課題等に関心・共感を持つ ・糸口ができたか等自由に意見交換
4) スタッフとふりかえり(最終)	市民活動支援センター	・「インターンシップ」プログラム最終として、今までの体験等を通じて行ってきたことについて、ふりかえりを行う。

## 体験発表会

12月15日(土)大阪大谷大学で「インターンシップ体験発表会」が行なわれました。

発表会には、インターンシップが実施された河内長野、富田林、大阪狭山の3市からの支援センター関係者、同時に開催された「自治体研究」の学生が参加されました。

発表は、各センターで設定したプログラムにより市民活動団体や、施設などでの体験を、チームごとにパワーポイントにまとめた発表と質疑応答を行ないました。

引続き岡島教授から「修了証書」が渡されました。

